

兵庫教育大学



学報

第249号
平成15年4月

題字 中洲正堯学長



(関連記事 3ページ掲載)

目次

大学院連合学校教育学研究科平成14年度 学位記授与式式辞.....2	諸報.....15
大学院学校教育研究科平成14年度学位記 授与式式辞.....3	・運営評議会・教授会・学校教育研究科委員会
学校教育学部平成14年度卒業式式辞.....5	・連合学校教育学研究科委員会
学事.....6	・サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業 (SPP事業)「教員研修-身近な地形・地 質の教材化-」の実施
・平成14年度大学院連合学校教育学研究科学位 記授与者数等	・地域貢献事業で「ビデオ講座ライブラリー」 の制作ロケ
・平成14年度大学院学校教育研究科学位記授与 者数等	・兵庫教育大学と兵庫県教育委員会が高大連携 で正式調印 中洲学長が調印8大学を代表 し、あいさつ
・平成14年度学校教育学部卒業証書・学位記授 与者数等	・教員研修留学生の研究発表会の開催
・平成14年度附属学校(園)の卒業(修了)者 数等	・兵庫教育大学永年勤続者表彰
・平成15年度学校教育学部入学者選抜試験等	・平成14年度谷口賞の授与
・平成15年度兵庫教育大学大学院学校教育研究 科(修士課程)選抜状況	・平成15年度公開講座の案内
人事.....10	・訂正
・人事異動	学内委員会等委員.....20
	主要日誌.....30

大学院連合学校教育学研究科平成14年度学位記授与式式辞

学長 中 冽 正 堯

自然界の様子を、ほんの少しの時間立ち止まって見るだけでも、いろいろな植物が芽吹きの花の姿を伝えてくれます。春、この佳き日に、上越教育大学副学長、岡山大学長、鳴門教育大学長、連合学校教育学研究科長をはじめとする関係教職員各位のご列席のもとに、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 平成14年度学位記授与式を挙行できますことは、修了生及び学位取得者のみなさんにとっては言うまでもなく、本研究科にとっても最高の喜びとするものであります。

今年度、博士の学位を取得されたのは、課程博士20人、論文博士5人であり、第一期生から含めると、62人+15人になります。

連合学校教育学研究科を代表して、改めて、みなさんのご研鑽に敬意を表しますとともに、所期の目的を達成されたことに対して、心からお慶び申し上げます。また、この間のみなさんの教育研究を支えてこられたご家族の方々をはじめ、関係者のみなさまに改めてお礼申し上げます。

さて、学位を取得された今、これからも考えていただきたいことがあります。それは、本研究科が、「学校教育学」あるいは「教育実践学」を標榜していることについてであります。

これは、常に申していることではありますが、本研究科は、教育の上に学校という冠（帽子）をかぶっており、「学校教育」を核として求心性と遠心性を考えておきたいのです。「学校教育」に特化した研究は求心的なものであります。「学校教育」から家庭教育、社会教育に広がり、生涯教育に視野を置く研究は遠心的なものであります。

また、本研究科は、教育の下に実践という沓（靴）をはいております。このことは、従来の教育学とは違って、理念的、哲学的、原理的、本質的なものの追究と、現実的、具体的、方法的、実践的なものの追究とを融合する学問を志向していることとなります。平たくいえば、その研究の成果が、研究の内輪で役立つことにとどまらず、子どもたちもふくめて、世の人々にどう役立つかが見える学問であります。

ご存じのとおり、本研究科は、学校教育実践学と教科教育実践学の二専攻です。そして教科教育実践学の中に、教科の専門科学と教科教育学とが含まれています。学校教育学あるいは教育実践学は、この二極三側面の相関関係において成り立つものです。

相関関係を捉える一つの象徴的な命題として、古くからの「詩と科学」の問題があります。中村雄二郎のいう「臨床の知」と「近代科学の知」も、共通

した問題でしょう。

ここで一つ、詩を引用して、この問題を考え、みなさんの研究のいっそうの深化拡充のために供したいと思います。読み上げますのは、まど・みちおの「ムカシヨモギのロゼット」という詩です。「ロゼット」というのは、花弁状に広がった根生葉のことです。タンポポなどにも見られ、冬の間、葉が花のように広がって、地面にはりついたようになっていく状態のことです。

ムカシヨモギのロゼット

まど・みちお

ムカシヨモギの ロゼットが
みどりの糸ぐるまを
まわしているように思われる
冬がれの こおりついた地べたで
見えないほどに ゆるゆると

おもたい雲のすきまから
時おり こぼれおちる光の糸を
一すじ残さず たぐりよせて
ゆるゆると ゆるゆると

そうして みどりの火をつむぎ
雪をとかし 氷をとかし
生きよ 生きよと
自分で自分を励ましなが

その小止みない ひびきで
氷の下にねむる
へびやカエルや虫たちの夢を
春へ春へと はこびながら

春先の根生葉の植物を上から見て、「みどりの糸ぐるまを / まわしているように思われる」と捉えています。「みどりの糸ぐるま」から、「光の糸」や「一すじ残さず」の表現が導かれ、「みどりの火をつむぎ」となっていくます。そして、小止みなく回る「みどりの糸ぐるま」のひびきによって、春へととげない、冬眠中の動物たちを目覚めさせるといふ、生の讃歌です。

これらの表現の裏には、「ロゼット」という植物の生態、地球の自転・公転によって巡りくる季節、そして「光合成」のはたらき、さらには動物たちの「冬眠」という「近代科学の知」があることは、明らかであります。

対象へのこの迫り方は、一方が一方を排除するものであってはなりません。ただ、中村雄二郎は、いくらか「臨床の知」を弁護するかたちで、こう言っています。

「臨床的な記録にしる、フィールド・ワークの記録にしる、観察し感じとったものを言語によって記述した場合、その記述は、ある程度永い期間にわたって多くの人々の検証にさらされれば、それが正しいか正しくないか、どこまで信頼できるかを判定することは十分可能だ……同じことは、行為の積み重ねとしての経験の働きについても言える。」(『術語集』)

教育研究に関わり、実践の学を志向して、「臨床の知」にまつわるこうした問題と格闘しながら、博士という学位を取得するために、みなさんがこの年月に傾注された努力は、並のものではありませんでした。私も、主指導教官経験者の一人として、そのことは実感として分かります。その結果としての学位取得について、心からおめでとくと申し上げますとともに、これを新たな出発点として、博士の「博」

のもつ学問の関連の意義を体得していかれることを念じてやみません。

今後、すぐれた研究者、指導者として、あるいは最高度の専門職業人として、ますます発展していかれますよう、みなさんの前途のご多幸を祈って式辞といたします。

平成15年3月27日



大学院学校教育研究科平成14年度学位記授与式式辞

大学院学校教育研究科（夜間クラス）平成14年度学位記授与式式辞

学長 中 洌 正 堯

鳴き交わす鳥たちのさえずりも、いっそう春の気配を感じさせる今日この佳き日に、本学名誉教授、社町収入役、同窓会長をはじめとするご来賓各位、本学役職員をはじめとする教職員各位、そして、ご家族のみなさまのご臨席のもとに、兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 平成14年度学位記授与式を挙行できますことは、修了生のみなさんにとっては言うまでもなく、本学にとっても最大の慶びとするところであります。

新しく修士の学位を取得されたのは245人です。この中には、神戸サテライトでの修了生17人を含んでいます。昭和56年度の修了生から数えますと、本学は5,363人の修士のみなさんを世に送り出したこととなります。

なお、本日をもって、2人の教員研修留学生在が研修を了えられます。

こちらのほうは、本年度で69人の方が、母国に帰って活躍されることとなります。

大学を代表して、改めてみなさんに心からお慶び申し上げますとともに、所定の年月にわたるみなさんの教育研究を支えて来られたご家族の方々をはじめ

め、各教育委員会、所属長、在籍校のみなさまに、心よりお礼申し上げます。

さて、本日の修了に際して、今後も修了生のみなさんと本学とを結ぶネットワークの内実を確かかで豊かなものとするために、コミュニケーションを話題に取り上げ、いくつかの決意とお願いを述べてみようと思います。その皮切りに、茨木のり子の「聴く力」という詩を読みます。

聴く力

茨木のり子

ひとのこころの湖水
その深浅に
立ちどまり耳澄ます
ということがない

風の音に驚いたり
鳥の声に惚けたり
ひとり耳そばだてる
そんなしぐさからも遠ざかるばかり

小鳥の会話がわかったせいで
古い樹木の難儀を救い
きれいな娘の病気まで直した民話
「聴耳頭巾」持っていた うからやから

その末裔は我がことのみは無我夢中
舌ばかりほの赤くくるくと空転し
どう言いくるめようか
どう圧倒してやろうか

だが
どうして言葉たり得よう
他のものをじっと
受けとめる力がなければ

こうした「聴く力」こそが、コミュニケーション力の根本であり、自他ともによりよく生きる力の根本だと思うのです。私たちは、研究教育において、あるいは、実生活の場において、この詩にいう「聴く力」をどのように実践してきたでしょうか。また、これから実践しようとしているでしょうか。「舌ばかりほの赤くくるくと空転し/どう言いくるめようか/どう圧倒してやろうか」とばかりに、「我がことのみは無我夢中」になっていなかったか、謙虚に反省してみる必要があります。

みなさんは、これから各地での実践の場、実生活の場に出向いて行かれるわけですが、その場その場で、相手の言うこと、訴えていることに耳を傾けていただきたい。そして、その訴えをこのように聴くことができた、だいじな問題としてこのように受けとめているという報告をしていただきたいのです。その報告を、こんどは、大学がしっかりと受けとめ、それを課題として誠実にお応えしたいと思うのであります。

こういうと、なにか重たいものばかり感じられるかもしれません。ときには、愚痴こぼしのような形で、情報交換、近況報告といったようなものでけっこうです。手段も、直接立ち寄って、あるいは電話で、手紙で、あるいは電子媒体によって自在に進めていきましょう。

コミュニケーションの進展のために、その手段の一つであり、文化でもある「手紙」についてのエピソードを以下に紹介いたします。先輩たちがおこなってきたコミュニケーションの精神に学び、コミュニケーションに明るさや癒しの要素を取り入れることに努めましょう。

『日本一短い「母」への手紙 一筆啓上』(福井県丸岡町)では明るさや癒しが話題になりました。短いことで世界一といえ、ヴィクトル・ユーゴーが出版元にあてた「？」(ハテナマーク)であり、

出版元が返した「！」(ビックリマーク)であるとされています。作品レ・ミゼラブルの売れ行きはどうかという問いに対して、上々であると答えたものです。日本ではさすがに、俳句や短歌形式のものが多くあります。『拝啓信濃はもう秋敬具油屋にて(立川寿兄)』、『オケイコハサワリアルユエコノ次ノ月曜日マデノバシテ下サイ』。後の、芥川龍之介が弟子の女性にあてたものです。

夏目漱石の猫が死にました。弟子の松根東洋城の弔電は「センセイノネコガシニタルヨサムカナ トヨ」、漱石の返電は「ワガハイノカイミヨウモナキススキカナ」。この即妙のコミュニケーション。そして、次のような哀惜の念やむかたなき死亡通知です。

辱知猫儀久々病気の処、療養不相叶、昨夜いつの間にか、裏の物置のヘツツイの上にて逝去致候。埋葬の儀は車屋をたのみ、箱詰にて裏の庭先にて執行仕候。但、主人「三四郎」執筆中につき、御会葬には及び不申候。

こういうものを紹介していると、そのような便りをやりとりしましょうと要求しているようですが、そうではありません。先に申しましたように、趣旨は、コミュニケーションに明るさや癒しの要素を取り入れたいというものです。そして、明るさや癒しは、「聴く力」の誠実ないとなみから生まれてくるものが、本物だと思っているからです。

「聴く力」の鍛練に努めましょう。そして、コミュニケーションの成果を分かち合うようにしましょう。これが、本日の修了に際して、今後も修了生のみなさんと本学とを結ぶネットワークの内実を確かめ豊かなものとするために、私の申し上げたかった決意とお願いであります。

おわりに、研究科修了生、留学生のみなさんが、世界の子供や若者たちとともに、希望の灯をともしつづけ、前途が幸い多いものとなることを祈って式辞といたします。

平成15年3月24日

学校教育学部平成14年度卒業式式辞

学長 中 洌 正 堯

川面にも春の光がきらめく今日の佳き日に、本学名誉教授、社町収入役、後援会会長をはじめとするご来賓各位、本学役職員をはじめとする教職員各位、そして、ご家族の皆様のご臨席のもとに、兵庫教育大学 学校教育学部 平成14年度卒業式を挙行できますことは、卒業生のみなさんにとっては言うまでもなく、本学にとっても大いに慶びとするところであります。

新しく学士号を取得されたのは、212人であり、昭和60年度からの卒業生を入れると、本学は3,610人の学生のみなさんを世に送り出したこととなります。

大学を代表して、みなさんに改めてお慶び申し上げますとともに、みなさんの4年間にわたる勉学を支えてこられたご家族の方々にかかる感謝とお慶びを申し上げます。

卒業は、一つの区切りであります。学びの世界をどう捉えるかにもよりますが、生涯学習の考え方をとりますと、大学卒業も人生の一つの通過点であり、これからがいよいよ現場と直結する、新たな学びの出発点となります。その意味からも、今日の卒業に際して、みなさんに、長田弘の「世界は一冊の本」という詩を贈りたいと思います。

世界は一冊の本

長田弘

本を読もう。
もっと本を読もう。
もっともっと本を読もう。

書かれた文字だけが本ではない。
日の光り、星の瞬き、鳥の声、
川の音だって、本なのだ。

ブナの林の静けさも、
ハナミズキの白い花々も、
おおきな孤独なケヤキの木も、本だ。

本でないものはない。
世界というのは開かれた本で、
その本は見えない言葉で書かれている。

ウルムチ、メッシナ、トンブクトウ、
地図のうへの一点でしかない
遙かな国々の遙かな街々も、本だ。

そこに住む人びとの本が、街だ。

自由な雑踏が、本だ。
夜の窓の明かりの一つ一つが、本だ。

シカゴの先物市場の数字も、本だ。
ネフド砂漠の砂あらしも、本だ。
マヤの雨の神の閉じた二つの眼も、本だ。

人生という本を、人は胸に抱いている。
一個の人間は一冊の本なのだ。
記憶をなくした老人の表情も、本だ。

草原、雲、そして風。
黙って死んでゆくガゼルも又一も、本だ。
権威をもたない尊厳が、すべてだ。

200億光年のなかの小さな星。
どんなことでもない。生きるとは、
考えることができるということだ。

本を読もう。
もっと本を読もう。
もっともっと本を読もう。

この詩は、3行ずつ、11連から成っています。詩の中で取り上げられた本のうち、すでに親しく読んでいるものもあり、これから読もうとするものもあり、人生の本棚の片隅に追いやられたものも、あるいは、はなから読む気のないものもあつたかと思ひます。しかし、何も読まないというわけにはいきません。この詩の終わりで言うように、「どんなことでもない。生きるとは、/考えることができるということだ」からです。大学を卒業するということは、「考える」習慣と方法、つまり考える力が、しっかり身についたということなのです。ある意味では、義務づけられたと言うこともできます。

たとえば、社町のキャンパス生活では、「星の瞬き、鳥の声」はじゅうぶん身近なものでありましたが、どう読んだでしょうか。キャンパスには、「ハナミズキの白い花」もありますし、学園道路には「ケヤキ」の並木もあります。孤独かどうかは分かりませんが、「おおきなケヤキの木」なら、社神社の境内にあります。何を讀み、何を讀まないかは、一人一人の自由です。また、どういう読み方をするかも一人一人の自由です。けれども、何も讀まないというのでは、学士号を受けるに値しないでしょう。

加えて、卒業していくみなさんに、これからぜひ

読んでもらいたいものがあります。詩の中に、「川の音だって、本なのだ。」というのがありました。これです。みなさんがこれから出かけていく先々で出会う「川」そのものを読んでいただきたいのです。川は、山と海を結ぶものであり、その還流する水は、私たちの生命を育む、文字通り源泉だからです。「世界〔水〕フォーラム」を、私たちの心に、日常化していかななくてはなりません。

若くして亡くなった生態学者の可児藤吉という方は、川の特徴として、二つのことを指摘しました。一つは、「川には必ず瀬と淵があって、それが繰り返されている」こと、もう一つは、「川は必ず曲がって流れていて、(けっしてまっすぐではない)蛇行)」ことです。可児藤吉さんは、この蛇行と、瀬や淵との組み合わせの型から、川の上流、中流、下流の区別をしました。川の長さを三等分するようなことはありません。

日本の川のほとんどは、この特徴をもっていたのですが、治水事業、河川改修等の歴史が、この特徴を変えていきました。所によっては、兩岸も川底もコンクリートで固めた、いわゆるコンクリート三面張り工法によって、瀬と淵のない、したがって蛇行のない真っ直ぐな川が多くなってきたのです。「世の中はなにか常なるあすか川昨日の淵ぞ今日は瀬になる」(古今和歌集・読み人知らず)という歌があります。これは、淵と瀬の入れ代わり、変化を歌っていますが、川の蛇行がなくなり、淵や瀬もなくなったと言っているではありません。ところが、コンクリート三面張り工法の多くは、それらをなくすものでした。結果として川の自然は失われていきました。

しかしです、希望が失われてしまったわけではありません。そうしたことに対する反省や、市民運動は各地に広がっています。川の問題は、全国の学校で、「総合的な学習の時間」にも多く取り上げられています。私たち一人一人が、地球の住民として、身近な川の状況を読み取って、希望の実現のための参加の仕方を決めていく必要があります。おろかな戦争などをしないで、足元からの地球環境問題に取り組んでいきたいものです

卒業にあたって、お祝いとともに課題を出しましたが、社会生活の実践の場で遠からず思い当たってもらえるものと信じます。みなさんの前途のご多幸を祈りつつ、もう一度、詩の言葉を繰り返します。

「本を読もう。

もっと本を読もう。

もっともっと本を読もう。」

平成15年3月24日



- 学 事 -

平成14年度大学院連合学校教育学研究科学学位記授与者数等

3月27日(木)午前11時30分から本学講堂において、大学院連合学校教育学研究科学学位記授与式を挙行し、25人に学位を授与した。

なお、博士の学位が授与された者の氏名、論文題目等は次のとおりである。

〔課程博士〕

氏名	学位の種類	授与年月日	論文題目
坂本 徳弥	博士(学校教育学)	H15.3.27	小学生のメディア活用に関する研究
橋本 秀美	〃	〃	描画法にみられる共感性についての研究

氏名	学位の種類	授与年月日	論文題目
兵藤 好美	博士(学校教育学)	H15.3.27	高齢者・在宅介護者の精神的健康とソーシャルサポートに関する研究 - 高齢化社会における臨床的教育への示唆 -
松本 剛	"	"	大学生のひきこもりに関する臨床心理学的考察 ~ 学生援助における人間性心理学的アプローチの有効性
三宅 茂夫	"	"	幼児期の道徳性の芽生えを培うコミュニケーション環境の構築
Ruiz Dominguez, Francisco Manuel	"	"	On the relationship between cognitive dissonance and helping behavior and an application to bystanders of ijime (bullying) (認知的不協和と援助行動に関する研究 - いじめ傍観児への介入を志向して -)
桑原 哲朗	"	"	芦田恵之助の綴り方教師修養論に関する研究
河野 順子	"	"	対話 による説明的文章の学習指導の実践と理論の構築 - メタ認知の内面化の理論提案を中心に -
土屋 紀子	"	"	An Experimental Exploration into Facilitating Second Language Listening Comprehension (第2言語における listening 能力の育成に関する実証的研究)
兼松 儀郎	"	"	中等教育と高等教育とのアーティキュレーションに関する実証的研究 - 多次的アプローチによる -
吉水 裕也	"	"	社会科における問題発見構造とカリキュラム開発
山根平太郎	"	"	ウレアゼモデル錯体の合成と構造・性質および金属含有酵素の教材化に関する研究
鄭 黎	"	"	理科学習を支援する教材の開発と実践応用に関する研究
佐藤 康浩	博士(学術)	"	Finite switchboard state machines and fuzzy finite switchboard state machines (有限スイッチボード・ステートマシンとファジィ有限スイッチボード・ステートマシン)
斯迪克 艾尔肯	"	"	鉱物の蛍光に関する分光学的研究
澁谷 由美	博士(学校教育学)	"	真宗大谷派声明の音楽学的研究 - 《伽陀》に象徴されるその諸相 -
藤原 宏夫	博士(学術)	"	石見神楽の研究 - 神楽の技法と認知の問題を中心に -
董 芳	博士(学校教育学)	"	子どもの「内的な能力」を育てる音楽授業の方法論に関する研究 - 日本の音楽授業研究の実践事例を通して -
佐野 哲也	博士(学術)	"	和服製作への画像処理技術の応用に関する研究
阿濱 茂樹	博士(学校教育学)	"	技術科教育における生徒理解を重視した実践学的研究

〔論文博士〕

氏名	学位の種類	授与年月日	論文題目
梅野 正信	博士(学校教育学)	H15.3.13	戦後初期における中学校社会科歴史教科書の成立に関する研究
山本 勝博	"	"	理科教育への定量的な扱いを支援する教材開発と実践的応用に関する研究
西川 純	"	"	巨視的時間の距離感形成に関する研究
伊藤 政展	"	"	Relation of Repetition Effect and Response Programming in Serial Reaction Time (系列反応時間における反復効果と反応プログラミングのかかわり)
岳野 公人	"	"	ものづくり学習の構想設計における生徒の思考過程に関する研究

平成14年度大学院学校教育研究科学学位記授与者数等
(平成15年3月24日)

専攻・コース	入学定員	学位記授与者数
学校教育専攻	人	人
教育基礎コース		11
教育経営コース		10
教育方法コース		20
生徒指導コース	105	14
幼年教育コース		10
教育臨床コース		48
昼間クラス		35
夜間クラス		13
小計	105	113
障害児教育専攻	25	22
教科・領域教育専攻		
言語系コース		21
社会系コース		17
自然系コース		15
芸術系コース	170	19
生活・健康系コース		14
総合学習系コース		24
昼間クラス		20
夜間クラス		4
小計	170	110
合計	300	245

学位記授与者の都道府県別内訳(本籍地別)

都道府県	学位記授与者数	都道府県	学位記授与者数
北海道	1	京都	11
青森		大阪	17
岩手		兵庫	83
宮城	1	奈良	3
秋田		和歌山	7
山形		鳥取	9
福島	1	島根	3
茨城		岡山	5
栃木	1	広島	5
群馬	1	山口	6
埼玉	1	徳島	3
千葉	1	香川	4
東京	2	愛媛	3
神奈川	1	高知	1
新潟		福岡	7
富山	3	佐賀	2
石川		長崎	3
福井	2	熊本	3
山梨	2	大分	3
長野		宮崎	5
岐阜	4	鹿児島	9
静岡	5	沖縄	2
愛知	8	外国	5
三重	5		
滋賀	7	合計	245



平成14年度学校教育学部卒業証書・学位記授与者数等
(平成15年3月24日)

専修・専修コース		卒業生数
学校教育専修		36
幼児教育専修		24
教科・領域教育専修	言語系専修コース	31
	社会系専修コース	23
	自然系専修コース	32
	芸術系専修コース	34
	生活・健康系専修コース	32
小計		152
合計		212



学位記授与者の都道府県別内訳(本籍地別)

都道府県	学位記授与者数	都道府県	学位記授与者数
	人		人
北海道		京都	2
青森		大阪	17
岩手		兵庫	94
宮城		奈良	
秋田		和歌山	3
山形		鳥取	8
福島	1	島根	8
茨城		岡山	10
栃木		広島	6
群馬		山口	4
埼玉	1	徳島	
千葉		香川	3
東京		愛媛	6
神奈川	1	高知	1
新潟		福岡	2
富山		佐賀	3
石川		長崎	7
福井	3	熊本	2
山梨		大分	4
長野		宮崎	7
岐阜	1	鹿児島	5
静岡	3	沖縄	3
愛知	2	外国	4
三重	1		
滋賀		合計	212

平成14年度附属学校(園)の卒業(修了)者数等

区分	附属小学校		附属中学校		附属幼稚園	
	卒業(修了)者数	男子 52人 女子 36人	88人	男子 62人 女子 42人	104人	男子 26人 女子 36人

平成15年度学校教育学部入学者選抜試験等

平成15年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験<前期日程>を2月25日(火)・26日(水)、私費外国人留学生特別選抜試験を2月27日(木)に実施し、それらの合格者の発表を3月6日(木)に行った。

また、同<後期日程>を3月12日(水)に実施し、3月20日(木)に合格者を発表した。

志願者数等の概要は、次のとおりである。

	志願者数	受験者数	合格者数
個別学力検査等入学者選抜試験<前期日程>	346人	303人	104人
個別学力検査等入学者選抜試験<後期日程>	290	133	27
私費外国人留学生特別選抜試験	4	2	2

備考:()内の数字は、女子を内数で示したものである。

平成15年度兵庫教育大学大学院学校教育研究科(修士課程)選抜状況

平成15年度大学院第3次募集入学者選抜試験を平成15年3月15日(土)に実施し、3月20日(木)に合格者を発表した。合格者数等は次のとおりである。

1 専攻・コース別合格者数等

専攻・コース		募集人員	応募者数	受験者数	合格者数
		人	人	人	人
学校教育専攻	教育方法コース	若干人	2	2	1
	小計		2	2	1
教科・領域教育専攻	言語系コース(国語分野)	若干人			
	言語系コース(英語分野)	若干人	2	1	1
	社会系コース	若干人	3	2	2
	自然系コース(数学分野)	若干人			
	自然系コース(理科分野)	若干人			
	生活・健康系コース(保健体育分野)	若干人	5	5	5
	生活・健康系コース(技術分野)	若干人			
	生活・健康系コース(家庭分野)	若干人			
	総合学習系コース(夜間クラス)	若干人	4(2)	4(2)	4(2)
小計		14(2)	12(2)	12(2)	
合計			16(2)	14(2)	13(2)

(注) 1. 志望は、第1志望のみ。

2. ()内の数は、3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む。)を内数で示す。

2 3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む。)の合格者の所属学校種別内訳

計	内訳					
	小学校	中学校	高等学校	特殊教育諸学校	幼稚園	他
2	1		1			

3 3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む。)の合格者の教職経験年数別内訳

計	内訳		
	3年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
2		1	1

- 人 事 -

人事異動
(役職者等)

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
15.4.1	併任	附属発達心理臨床研究センター長 (17.3.31まで)	富永良喜	
"	"	附属中学校長(18.3.31まで)	松浦正史	
"	"	保健管理センター所長 (17.3.31まで)	平田早苗	
"	命	生徒指導講座 講座主任 (前任者:上地安昭教授)	渡邊満	
"	"	教育臨床講座 講座主任 (前任者:藤田継道教授)	浅川潔司	
"	"	実地教育支援研究部門 部門主任 (前任者:上西一郎助教授)	長澤憲保	

(学部等)

年月日	発令事項	新 官 職 等	氏 名	旧 官 職 等
15. 3.31	定年退職		水 野 信 男	学校教育学部教授 (芸術系教育講座)
"	辞 職	福山女学園大学 人間関係学部助教授	石 橋 尚 子	学校教育学部助教授 (幼年教育講座)
"	契約期間満了		ALBERT JOHN CHICK	外国人教師
15. 4. 1	転 出 併 任	愛媛大学教育学部 附属教育実践総合センター教授 学校教育学部教授(15.9.30まで)	夏 野 良 司	学校教育学部教授 (教育臨床講座)
"	転 出 併 任	愛知教育大学教育学部助教授 学校教育学部助教授(15.9.30まで)	小 泉 恭 子	学校教育学部助教授 (芸術系教育講座)
"	転 出	鳴門教育大学学校教育学部附属 実技教育研究指導センター講師	兼 重 昇	学校教育学部助手 (言語系教育講座)
"	転 入	学校教育学部助手 (障害児教育講座)	小 島 道 生	筑波大学生命・情報等教育研究 支援室文部科学技官
"	昇 任	学校教育学部教授 (障害児教育講座)	鳥 越 隆 士	学校教育学部助教授 (障害児教育講座)
"	"	学校教育学部教授 (芸術系教育講座)	草 野 次 郎	学校教育学部助教授 (芸術系教育講座)
"	"	学校教育学部助教授 (教育基礎講座)	渡 邊 隆 信	学校教育学部講師 (教育基礎講座)
"	"	学校教育学部助教授 (教育経営講座)	武 井 敦 史	学校教育学部講師 (教育経営講座)
"	"	学校教育学部助教授 (障害児教育講座)	宇 野 宏 幸	学校教育学部講師 (障害児教育講座)
"	"	学校教育学部助教授 (自然系教育講座)	濱 中 裕 明	学校教育学部講師 (自然系教育講座)
"	"	学校教育学部講師 (幼年教育講座)	石 野 秀 明	学校教育学部助手 (幼年教育講座)
"	"	学校教育学部講師 (芸術系教育講座)	喜 瀬 泰 江	学校教育学部助手 (芸術系教育講座)
"	"	学校教育学部講師 (障害児教育講座)	井 澤 信 三	学校教育学部助手 (障害児教育講座)
"	併 任	学校教育学部教授(16.3.31まで)	塩 見 邦 雄	
"	契 約	外国人教師	THURMAN JOHN PHILLIP, JR.	高知県立高知女子大学文化学部 助教授

(附属学校)

年月日	発令事項	新 官 職 等	氏 名	旧 官 職 等
15. 3.31	辞 職	兵庫県姫路市立船場小学校長	松 尾 直	附属小学校教頭
"	"	福岡県古賀市立舞の里小学校教諭	笹 口 篤	附属小学校教諭
"	"	兵庫県姫路市立広峰小学校教諭	白 井 勝 之	附属小学校教諭
"	"	奈良県北葛城郡 上牧町立上牧第三小学校教諭	高 橋 藤 一 郎	附属小学校教諭
"	"	兵庫県三田市立藍小学校教諭	阿 部 秀 高	附属小学校教諭
"	"	大阪府高槻市立五領小学校教諭	的 場 克 己	附属小学校教諭
"	"	兵庫県宍粟郡 一宮町立一宮北中学校教諭	春 名 理 恵	附属小学校教諭
"	"	兵庫県三木市立三木東中学校教諭	田 中 順 子	附属中学校教諭

(附属学校)

年月日	発令事項	新 官 職 等	氏 名	旧 官 職 等
15. 3. 31	辞 職	兵庫県加古川市立平岡東小学校教諭	藤 本 百 男	附属中学校教諭
"	"	兵庫県西脇市立西脇東中学校教諭	中 根 良 介	附属中学校教諭
"	"	兵庫県加東郡滝野町立滝野中学校教諭	日 置 和 子	附属中学校教諭
15. 4. 1	15. 3. 31 限り任期満了退職		中 野 里 美	附属中学校養護教諭
"	採 用	附属小学校教頭	古 田 猛 志	兵庫県立教育研修所主任指導主事
"	"	附属小学校教諭	飯 谷 敏 子	兵庫県氷上郡市島町立鴨庄小学校教諭
"	"	附属小学校教諭	須 原 友 紀	兵庫県氷上郡山南町立山南中学校教諭
"	"	附属小学校教諭	高 山 宗 寛	大阪府堺市立福田小学校教諭
"	"	附属小学校教諭	中 田 高 俊	兵庫県朝来郡生野町立生野中学校教諭
"	"	附属小学校教諭	羽田野 崇	福岡県宗像市立河東小学校教諭
"	"	附属小学校教諭	樋 口 剛 史	奈良県北葛城郡新庄町立新庄北小学校教諭
"	"	附属中学校教諭	梅 田 麻衣子	兵庫県朝来郡生野町立生野中学校教諭
"	"	附属中学校教諭	高 芝 久美子	兵庫県三木市立三木東中学校教諭
"	"	附属中学校教諭	辻 浩 樹	兵庫県加古川市立中部中学校教諭
"	"	附属中学校教諭	岡 野 大	
"	"	附属中学校養護教諭	藤 原 さゆり	

(事務局)

年月日	発令事項	新 官 職 等	氏 名	旧 官 職 等
15. 3. 15	15. 3. 14 限り退職		安 部 幸 子	教務部教務課サテライト事務係事務補佐員
15. 4. 1	15. 3. 31 限り任期満了退職		藤 永 美 保	教務部教務課附属学校係員(小学校)
"	15. 3. 31 限り退職		濱 名 昭 子	総務部庶務課研究協力係事務補佐員(生徒指導講座)
"	転 出	熊本大学総務部長	高 村 是 雄	総務部長
"	"	大阪教育大学学生部教務課長	小 林 正 彦	教務部学生課長
"	"	香川医科大学教務部入学主幹	前 川 正	教務部入学主幹
"	"	京都大学医学部附属病院管理課課長補佐	飛 弾 昭 晴	総務部施設課課長補佐
"	"	高知工業高等専門学校庶務課長	菅 野 敬 也	総務部庶務課専門職員(広報・連携担当)
"	"	広島商船高等専門学校学生課長	深 田 哲	総務部庶務課専門職員(研究推進担当)
"	"	神戸大学総務部人事課給与第二掛長	木 澤 高	総務部庶務課職員係長
"	"	大阪大学サイバーメディアセンター会計掛長	西 川 憲 司	総務部会計課司計係長
"	"	神戸大学施設部企画課企画掛長	浅 見 博 昭	総務部会計課用度係長

(事務局)

年月日	発令事項	新 官 職 等	氏 名	旧 官 職 等
15. 4. 1	転 出	京都大学施設部建築課 第四工営掛長	伴 佳 英	総務部施設課施設係長
"	"	鳥根大学施設課電気係長	山 田 一 志	総務部施設課設備係長
"	"	神戸大学発達科学部専門職員	上 田 一 也	教務部教務課専門職員 (学部教務担当)
"	"	神戸大学学務部学務課専門職員	堀 広 司	教務部学生課専門職員(奨学担当)
"	"	神戸大学国際交流課国際企画掛長	蘆 田 壽	教務部学生課専門職員 (留学生担当)
"	"	大阪大学附属図書館情報管理課 目録データベース掛長	村 上 健 治	教務部図書課目録情報係長
"	"	神戸大学社会科学系学部等総務課 会計掛主任	宮 脇 明 子	教務部教務課附属学校係主任 (小学校)
"	"	神戸大学医学部医事課医事掛主任 (命)医療福祉掛勤務	中 西 睦 美	総務部庶務課研究協力係員
"	"	国立天文台管理部会計課 総務係主任	河 邊 隆 志	総務部会計課出納係員
"	転 入 (昇任)	総務部長	山之内 恵 一	愛媛大学総務部総務課長
"	"	教務部学生課長	古 杉 俊 輔	山形大学医学部学務課長
"	" (昇任)	教務部入学主幹	明 田 敏 彦	京都工芸繊維大学研究協力室 研究支援係長
"	" (昇任)	総務部施設課課長補佐	高 畑 昇 一	京都大学施設部機械設備課 第二機械掛長
"	"	総務部庶務課専門職員 (広報・連携担当)	岩 佐 文 雄	神戸大学総務部総務課企画掛長
"	" (昇任)	総務部庶務課職員係長	笠 原 眞 人	神戸大学総務部総務課総務掛主任
"	" (昇任)	総務部会計課用度係長	上 田 富美雄	神戸大学経理部契約室 契約第三掛主任
"	"	総務部施設課施設係長	藤 川 勝 彦	大阪大学医学部附属病院 管理課施設掛長
"	"	総務部施設課設備係長	楠 秀 明	宇都宮大学施設課電気係長
"	" (昇任)	教務部教務課専門職員 (学部教務担当)	木 本 孝 美	神戸大学発達科学部教務掛主任
"	"	教務部学生課専門職員(奨学担当)	入 江 章 夫	神戸大学学務部学務課総務掛長
"	"	教務部学生課学生係主任 (命)就職問題対策室勤務	岡 田 恵美子	神戸大学農学部農場事務掛主任
"	"	教務部教務課教務企画係員	内 藤 直 樹	神戸大学医学部総務課人事掛員
"	配置換	総務部庶務課専門職員 (大学評価担当)	臼 井 隆 弘	教務部入学主幹付入学試験係長
"	"	総務部庶務課専門職員 (研究推進担当)	酒 井 守	教務部図書課管理係長
"	"	総務部会計課出納係主任	篠 原 元 子	総務部会計課総務係主任
"	"	総務部会計課出納係主任	西 村 明	総務部庶務課研究協力係主任 (自然,生活・健康棟)
"	"	総務部施設課企画係主任	岩 堀 真 二	総務部会計課出納係主任
"	"	教務部教務課附属学校係主任	白 川 真由美	教務部学生課学生係主任 (命)就職問題対策室勤務
"	"	総務部庶務課研究協力係員 (教育・言語・社会棟)	三 原 敬 一	教務部学生課学生係員
"	"	総務部庶務課研究協力係員	松 尾 茜	教務部教務課教務企画係員

(事務局)

年月日	発令事項	新 官 職 等	氏 名	旧 官 職 等
15. 4. 1	配置換	総務部会計課総務係員	坂 地 正 寿	総務部庶務課人事係員
"	昇 任	総務部庶務課専門職員 (法人化担当)	藤 木 裕 一	総務部庶務課庶務係主任
"	"	総務部会計課司計係長	前 田 憲 章	総務部会計課司計係主任
"	"	教務部学生課専門職員 (留学生担当)	中 西 あつ子	総務部施設課企画係主任
"	"	教務部図書課管理係長	田 中 健 愛	総務部会計課情報システム係主任
"	"	教務部図書課目録情報係長	藤 原 克 彦	教務部図書課情報サービス係主任
"	"	教務部入学主幹付入学試験係長	藤 井 康 博	教務部入学主幹付入学試験係主任
"	"	総務部庶務課庶務係主任	白 川 勝 也	総務部庶務課庶務係員
"	"	総務部会計課司計係主任	宮 脇 浩 和	総務部会計課総務係員
"	"	教務部教務課附属学校係主任	河 村 礼 子	教務部図書課目録情報係員
"	"	教務部学生課学生係主任	岸 本 元 昭	教務部学生課学生係員
"	"	教務部図書課目録情報係主任	森 本 秩 代	教務部図書課 目録情報係 (命)主任
"	"	教務部図書課情報サービス係主任	服 部 康 子	教務部教務課附属学校係員 (中学校)
"	所属換	総務部庶務課研究協力係員 (芸術棟)	藤 井 三香子	総務部庶務課研究協力係員 (教育・言語・社会棟)
"	"	総務部会計課総務係員	内 藤 幸 恵	総務部会計課用度係員
"	"	教務部教務課連合大学院事務係員	桐 野 優 子	教務部教務課附属学校係員 (中学校)
"	"	総務部庶務課研究協力係 事務補佐員(自然,生活・健康棟)	遠 藤 奈 奈	総務部庶務課研究協力係 事務補佐員(芸術棟)
"	"	教務部入学主幹付入学試験係 事務補佐員	古 原 絵 美	教務部図書課情報サービス係 事務補佐員
"	採 用	総務部庶務課庶務係員	溝 端 祥 平	
"	"	総務部会計課情報システム係員	佐田野 佑 介	
"	"	教務部図書課目録情報係員	永 井 一 樹	
"	"	教務部入学主幹付入学試験係員	谷 岡 信 宏	
"	"	教務部教務課教務企画係 事務補佐員	伊 東 倫 子	

— 諸 報 —

運営評議会

第14回 平成15年3月11日(火)

(議題)

- 1 兵庫教育大学大学院修士課程の入学者確保策の一部変更等について
- 2 平成16年度大学院学校教育研究科(修士課程)学生募集要項について
- 3 兵庫教育大学学則の一部を改正する学則の制定について
- 4 兵庫教育大学におけるハラスメントの防止等に関する規程の制定について
- 5 教員組織の整備方針について
- 6 附属学校の自己点検・評価について
- 7 教員の併任について
- 8 教員の選考開始等について
- 9 平成15年度(平成16年度)兵庫教育大学地域貢献特別支援事業について
- 10 外国人客員研究員の受入れについて
- 11 平成16年度概算要求の取り扱いについて

第15回 平成15年3月20日(木)

(議題)

- 1 兵庫教育大学大学院修士課程の入学者確保策について
- 2 平成16年度大学院学校教育研究科(修士課程)学生募集要項について

教授会

第11回 平成15年3月5日(水)

(議題)

- 1 平成15年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験《前期日程》の合否判定について
- 2 平成15年度学校教育学部私費外国人留学生特別選抜試験の合否判定について

第12回 平成15年3月11日(火)

(議題)

- 1 教員の選考について
- 2 教員の併任について
- 3 教員選考委員会の設置等について
- 4 平成14年度学校教育学部卒業の認定について
- 5 平成15年度学校教育学部授業科目担当教官の変更等について
- 6 履修科目の登録の上限設定について
- 7 学部学生の休学及び退学について

8 特別聴講学生の入学について

9 学校教育学部科目等履修生の入学について

第13回 平成15年3月20日(木)

(議題)

- 1 平成15年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験《後期日程》の合否判定について
- 2 平成15年度追加合格者の決定方法について

研究科委員会

第11回 平成15年3月5日(水)

(議題)

- 1 兵庫教育大学大学院修士課程の入学者確保について

第12回 平成15年3月11日(火)

(議題)

- 1 平成14年度大学院学校教育研究科修了の認定について
- 2 平成16年度大学院学校教育研究科(修士課程)学生募集要項について
- 3 大学院学校教育研究科担当の認定について
- 4 平成15年度大学院学校教育研究科授業科目担当教官の変更等について
- 5 平成15年度既修得単位認定に係る日程について
- 6 大学院学生の転クラスについて
- 7 大学院学生の退学について
- 8 大学院学生の休学について
- 9 研究生の研究期間延長について
- 10 研究生の指導教官変更について
- 11 大学院学校教育研究科科目等履修生の入学について
- 12 研究生の入学について

第13回 平成15年3月20日(木)

(議題)

- 1 平成15年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験(第3次)の合否判定について
- 2 兵庫教育大学大学院修士課程の入学者確保策について
- 3 平成16年度大学院学校教育研究科(修士課程)学生募集要項について
- 4 大学院学生の学籍異動について

連合学校教育学研究科委員会
第4回 平成15年3月13日(木)
(議題)

- 1 課程修了による博士の学位授与の可否及び修了の認定について
- 2 論文提出による博士の学位授与の可否及び修了の認定について
- 3 副指導教官の変更について
- 4 博士候補認定試験の実施について
- 5 研究科学生の学籍異動について
- 6 研究科学生の研究期間延長について
- 7 研究科学生の入学について
- 8 博士課程自己点検評価について
- 9 「連合学校教育学研究科歳出予算配分基本方針」の一部改正について

サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業(SPP事業)「教員研修-身近な地形・地質の教材化-」の実施

2月21日(金), 3月1日(土)の2日間にわたり「身近な地形・地質の教材化」をテーマに同事業「教員研修」が姫路科学館等で実施され, 姫路市教育委員会所属の小中学校理科担当教員33人が参加した。同事業は, 大学, 研究機関等の人材, 施設, 設備等を学校における科学技術・理科, 数学教育に活用しようとするものである。

「身近な地形・地質の教材化」は, 総合的な学習の教材として最適な現象・事物を地域ごとに具体的に取り上げて, 地域独自の教材を開発し, 今後の理科教育の現場でいかすことを目的に実施したもので, 2月21日の午前中は姫路科学館で講義を行い, 同日の午後と3月1日には姫路市小赤壁等の実習現場にて自然系教育講座西村教授, 同講座竹村助手の指導のもと実習を行った。参加した教員からは「身近にあるものが優れた教材となることが分かった。」や「教科書やビデオ等の資料からは学べない多くのことを学べた。」など大好評を得た。



地域貢献事業で「ビデオ講座ライブラリー」の制作ロケ

本学では地域交流推進センターが中心となり, 3月3日(月), 4日(火)にわたり, 地元社町, NHKエデュケーショナルの協力を得て, 「ビデオ講座ライブラリー」の制作ロケを行った。このライブラリーの制作は地域貢献事業の一環として位置付けたもので, 地元社町ケーブルテレビや関連機関へ提供し, 地域の生涯学習や学校教育の活性化に寄与することをねらいとしている。

今回制作するビデオは, 中世東播磨の特質を「合戦」「巡礼」「道」を通して描いた「兵(つねの)の道 巡礼の道(社会系教育講座河村教授)」と, 乳幼児期から幼児期にかけての親子関係のあり方などを描いた「子どもの世界(幼年教育講座横川教授, 同講座名須川教授)」の2本としている。

今後も内容の充実を図りながら制作を継続し, 放送教材等として多くの関連機関に提供する予定としており, このライブラリーが「大学における教育・研究の活性化」につながるのではと期待している。



兵庫教育大学と兵庫県教育委員会が高大連携で正式調印

中泷学長が調印8大学を代表し, あいさつ

3月4日(火), 兵庫県公館大会議室で, 本学と兵庫県教育委員会は, 「県立高等学校生徒を対象とした大学の授業公開に関する協定書」の調印を行った。

調印式では, 本学の他調印7大学の紹介に始まり, 武田兵庫県教育長が「高校生が学びの面白さに気づいてくれれば」と挨拶, 引き続き大学側を代表し中泷学長が「高大連携によって, (1)大学へ入る前に高等学校で何を学ぶかの自覚を促すことができる。(2)大学側は, 教養教育をはじめ, 大学の授業改善を進めることができる。(3)高校生の進路と大学側

の受入とを緊密なものとする事ができる。」と抱負を述べた。

また、調印式後開催された「高大連携等推進フォーラム」では、教育関係者ら約300人が出席し、これまでの取り組みや今後の課題などについて熱心に討論が行われた。



教員研修留学生の研究発表会の開催

本年3月をもって、一年間の研修を修了する教員研修留学生の研究成果発表会が、3月6日(木)に本学附属図書館ライブラリーホールにおいて開催された。

濱名副学長から修了者に対してねぎらいと励ましの言葉が贈られた後、インドネシアからの留学生2人が、指導教官、日本語担当教官及びチューター等約20人の出席者を前に、それぞれの研究テーマに基づき、流ちょうになった日本語で発表を行った。

参加した教官や学生から質問が相次ぎ、発表のことに集中していたせいか回答に窮する場面もあったが、本学での研修生活を無事締めくくった。



兵庫教育大学永年勤続者表彰

平成15年3月31日付け退職の水野信男教授に対し、退職時における兵庫教育大学永年勤続者表彰を行うことが決定され、3月19日(水)、学長から表

彰状の授与及び記念品の贈呈が行われた。



平成14年度谷口賞の授与

谷口賞の授与式が、3月24日(月)に事務局大会議室において行われた。

この賞は、谷口澄夫初代学長の寄附による教育研究奨励金により設けられたもので、毎年学部卒業者のうち、教職を志し、学業に優れた者にたいして授与されているものである。

授与式では、中渕学長から次の受賞者7人に賞状及び記念品が授与された。

学校教育専修	織田 貴子
幼児教育専修	神浦 まどか
言語系専修コース	熊橋 絵美
社会系専修コース	松岡 利恵
自然系専修コース	清水 慶子
芸術系専修コース	西口 容子
生活・健康系専修コース	金次 美果

訂正

・学報(第248号)

- 2頁左5行目(誤)学則第2号
(正)学則第1号
- 2頁左37行目(誤)規程第17号
(正)規程第1号
- 3頁左18行目(誤)規程第18号
(正)規程第2号
- 3頁左41行目(誤)規程第19号
(正)規程第3号
- 4頁右7行目(誤)規程第20号
(正)規程第4号

平成15年度公開講座の案内

本学の教育・研究活動の成果を公開し、社会人の教養を高めることを目的として、今年度は次のとおり17講座を開講します。

<p>現職教員の実技指導能力を向上させるための講座 る・ぶ・げる(陸上運動・陸上競技)指導の"こつ" (募集人数 : 10人)</p> <p>*開設期間 : 5月1・8・15・22・29日 18:00~20:00(木曜, 2H, 5回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学陸上競技場</p> <p>*受講対象者: 現職教員等</p> <p>*受講料 : 6,200円(傷害保険料別途要)</p>	<p>幼稚園, 小学校の通常の学級に在籍する行動上の問題のある子どもたちへの対応 (募集人数 : 20人)</p> <p>*開設期間 : 5月17・31日, 6月7・14・21・28, 7月5・12日 15:30~17:30(土曜, 2H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学大学院神戸サテライト</p> <p>*受講対象者: LD,AD/HD等の子どもたちの指導に関わっている幼稚園, 小学校教員</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>
<p>楽しく踊ろうジャズダンス (募集人数 : 15人)</p> <p>*開設期間 : 5月8・15・22・29日, 6月5・12日 18:10~19:40(木曜, 1.5H, 6回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学体育棟ダンスレッスン室</p> <p>*受講対象者: 市民一般(中学生以上, 現職教員含む)</p> <p>*受講料 : 6,200円(傷害保険料別途要)</p>	<p>タニシト・井伏鱒二を読む (募集人数 : 40人)</p> <p>*開設期間 : 5月24・31日, 6月7・14日 14:00~15:30(土曜, 1.5H, 4回)</p> <p>*開設場所 : 姫路文学館</p> <p>*受講対象者: 市民一般</p> <p>*受講料 : 6,200円</p>
<p>環境のはかりかたと現状 [ひょうご講座(学外科目)として開講](募集人数 : 40人)</p> <p>*開設期間 : 5月15・22・29日, 6月5・12・19・26日 7月3・10・17・24日 18:30~20:00(木曜, 1.5H, 11回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫県立神戸学習プラザ</p> <p>*受講対象者: 市民一般</p> <p>*受講料 : 15,000円</p>	<p>和の心"お箏"を弾いてみよう (募集人数 : 10人)</p> <p>*開催期間 : 6月7・14・22・28日 13:00~16:00(指定の土曜又は日曜, 3H, 4回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学芸術棟100号室, 303号室</p> <p>*受講対象者: 現職教員, 市民一般</p> <p>*受講料 : 7,200円</p>
<p>音の風景を聴く [ひょうご講座(学外科目)として開講](募集人数 : 40人)</p> <p>*開設期間 : 5月16・23・30日, 6月6・13・20・27日, 7月4・11・18日 18:30~20:00(金曜, 1.5H, 10回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫県立神戸学習プラザ</p> <p>*受講対象者: 市民一般</p> <p>*受講料 : 12,000円</p>	<p>パソコンによるポスターデザイン入門 (募集人数 : 15人)</p> <p>*開設期間 : 6月7・14・21・28日 10:00~16:00(土曜, 5H, 4回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学芸術棟デザイン実習室</p> <p>*受講対象者: 現職教員, 市民一般</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>
<p>こころの絆を育てる - 人間関係とコミュニケーション - [ひょうご講座(学内科目)として開講](募集人数 : 40人)</p> <p>*開設期間 : 5月17・24・31日, 6月7・14・21・28日, 7月5日 13:30~15:00(土曜, 1.5H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学大学院神戸サテライト</p> <p>*受講対象者: 市民一般</p> <p>*受講料 : 7,200円</p>	<p>簡単ロボット製作で学ぶコンピュータの仕組みと制御 (募集人数 : 10人)</p> <p>*開催期間 : 6月7・14・21・28日, 7月5・12・19日 13:30~16:30(土曜, 3H, 7回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学大学院神戸サテライト</p> <p>*受講対象者: 市民一般(Windowsの経験のある中学3年生以上)</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>

<p>楽しいテニス教室 (募集人数 : 30人)</p> <p>*開設期間 : 6月7・14・21・28日, 7月5・12・19・26日 9 : 30 ~ 11 : 30 (土曜, 2H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学硬式テニスコート</p> <p>*受講対象者 : 市民一般</p> <p>*受講料 : 8,200円 (傷害保険料別途要)</p>	<p>現代子育て考 - すこやかに, 豊かに - [ひょうご講座(学内科目)として開講] (募集人数 : 40人)</p> <p>*開設期間 : 9月13・20・27日, 10月4・11・18・25日, 11月1日 13 : 30 ~ 15 : 00 (土曜, 1.5H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学大学院神戸サテライト</p> <p>*受講対象者 : 市民一般</p> <p>*受講料 : 7,200円</p>
<p>スポーツが好きになる親子教室 (募集人数 : 20人)</p> <p>*開設期間 : 7月19・20・26・27日, 8月30日, 9月6・7・13日 13 : 30 ~ 15 : 30 (指定の土曜, 日曜, 2H, 8日間) (但し, 8月30日(土)のみ10:00~16:00)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学プール, 体育館他</p> <p>*受講対象者 : 小学校低学年児童をもつ保護者</p> <p>*受講料 : 8,200円 (傷害保険料別途要)</p>	<p>楽しく踊ろうジャズダンス (募集人数 : 15人)</p> <p>*開設期間 : 10月2・9・16・23・30日, 11月6日 18 : 10 ~ 19 : 40 (木曜, 1.5H, 6回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学体育棟ダンスレッスン室</p> <p>*受講対象者 : 市民一般 (中学生以上, 現職教員含む)</p> <p>*受講料 : 6,200円 (傷害保険料別途要)</p>
<p>理科実験・観察のカンドココ (募集人数 : 12人)</p> <p>*開設期間 : 7月30日(水) 13:30~17:00 7月31日(木) 9:00~17:00 8月1日(金) 9:00~12:30</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学自然, 生活・健康棟物理実験室他</p> <p>*受講対象者 : 小中高教員及び市民一般</p> <p>*受講料 : 7,200円</p>	<p>絵画制作 (募集人数 : 20人)</p> <p>*開設期間 : 11月1・2・3・4日 13 : 00 ~ 18 : 00 (5H, 集中4回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学芸術棟絵画実習室(2)</p> <p>*受講対象者 : 市民一般</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>
<p>発達が気になる子どもの家庭療育の方法 (募集人数 : 25人)</p> <p>*開設期間 : 9月6・13・27日, 10月4・18日, 11月1・15・29日, 12月6日 14 : 00 ~ 16 : 00 (土曜, 2H, 9回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学大学院神戸サテライト</p> <p>*受講対象者 : 発達が気になる子どもの保護者</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>	



- 学内委員会等委員 -

は委員長を， は副委員長を示す。表示のない委員会は未定。〔 〕は担当課を示す。

学校教育学部教務委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
島崎 保	助教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山中 一英	講師(教育経営講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
天根 哲治	助教授(教育方法講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
安原 一樹	助教授(生徒指導講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
名須川 知子	教授(幼年教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
辻河 昌登	講師(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
村田 美由起	講師(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
菅井 三実	講師(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
中田 賀之	助教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
森 秀樹	助教授(社会系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
南 埜 猛	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
小池 敏司	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
竹村 厚司	助教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
藤井 一男	教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31
村上 裕介	助教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
森田 啓之	講師(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
永田 智子	講師(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
佐藤 真	助教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
別 惣 淳二	助教授(学校教育研究センター)	14. 8. 1~ 16. 3.31

〔教務課〕

大学院学校教育研究科教務委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱 名 外喜男	副学長	
杉尾 宏	教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
加治佐 哲也	教授(教育経営講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
正 司 和彦	教授(教育方法講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
上地 安昭	教授(生徒指導講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
横川 和章	教授(幼年教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
浅川 潔司	教授(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山口 洋史	教授(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
堀江 祐爾	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
大嶋 浩	教授(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
藤井 徳行	教授(社会系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
藤原 司	助教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
吉岡 秀文	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
竹内 俊一	教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
福本 謹一	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
千駄 忠至	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山野 惟夫	教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
潮田 ひとみ	助教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
西村 治彦	教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
長澤 憲保	教授(学校教育研究センター)	15. 4. 1~ 17. 3.31

〔教務課〕

学生委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
濱名 外喜男	副学長	
宮本 健市郎	助教授(教育基礎講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
安原 一 樹	助教授(生徒指導講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
横川 和 章	教授(幼年教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
井澤 信 三	講師(障害児教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
田中 雅 和	教授(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
首藤 明 和	講師(社会系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
矢吹 浩 一	教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
小和田 善 之	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
田中 由美子	助教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
初田 隆	助教授(職業教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
松下 健 二	教授(職業教育研究センター)	15. 4. 1~ 17. 3.31
松本 伸 示	教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
浅川 潔 司	教授(教育臨床講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31

〔学生課〕

大学会館運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
宮本 健市郎	(学生委員会委員) 助教授(教育基礎講座)	
川本 幸彦	事務局長	
荒川 忠雄	教務部長	

〔学生課〕

学生寄宿舎委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
田中 雅 和	(学生委員会委員) 教授(言語系教育講座)	
川本 幸彦	事務局長	
荒川 忠雄	教務部長	

〔学生課〕

建物施設等委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洌 正 堯	学 長	
濱名 外喜男	副学長	
佐藤 光	副学長	
岩田 一 彦	附属図書館長	
山下 伸 典	連合学校教育学研究科長	
三 野 耕	学校教育研究センター長	
今塩屋 隼 男	運営評議会委員	
河村 昭 一	運営評議会委員	
西村 年 晴	運営評議会委員	
森川 京 子	運営評議会委員	
増澤 康 男	運営評議会委員	
安部 崇 慶	運営評議会委員	
山岡 俊比古	運営評議会委員	
崎谷 真 也	運営評議会委員	
森岡 茂 勝	運営評議会委員	
荒木 勉	運営評議会委員	
川本 幸彦	事務局長	

〔施設課〕

附属図書館運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
岩田一彦	附属図書館長	
伊藤博之	助手(教育方法講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
宇野宏幸	助教授(障害児教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
吉田達弘	助教授(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
原田誠司	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
竹村静夫	助手(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
長尾義人	助教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
藤岡秀英	助教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
長瀬久明	教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
古川雅文	教授(学校教育研究センター)	15. 4. 1~ 17. 3. 31

〔図書課〕

学校教育研究センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
三野耕	学校教育研究センター長	
嶋崎まゆみ	講師(教育臨床講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
今井裕之	助教授(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
濱中裕明	助教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
高木厚子	助教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
小川武範	教授(総合学習系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3. 31
田中亨胤	附属小学校長	
松浦正史	附属中学校長	
岡秀郎	附属幼稚園長	
古川雅文	(学校教育研究センター-学校問題解決研究部門主任) 教授(学校教育研究センター)	
成田滋	(学校教育研究センター-情報メディア教育研究部門主任) 教授(学校教育研究センター)	
長澤憲保	(学校教育研究センター-実地教育支援研究部門主任) 教授(学校教育研究センター)	

〔教務課〕

附属実技教育研究指導センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
松下健二	附属実技教育研究指導センター長	
二谷廣二	教授(附属実技教育研究指導センター)	
鈴木寛	教授(附属実技教育研究指導センター)	
岩下碩通	教授(附属実技教育研究指導センター)	
小竹光夫	助教授(附属実技教育研究指導センター)	
初田隆	助教授(附属実技教育研究指導センター)	
永木耕介	助教授(附属実技教育研究指導センター)	
新山真弓	助教授(附属実技教育研究指導センター)	
谷明信	講師(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
保坂博光	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
櫻井晨正	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
千駄忠至	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31

〔庶務課〕

情報処理センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
正司和彦	情報処理センター長	
上地安昭	教授(生徒指導講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
藤井徳行	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
笠原恵	助手(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
鈴木寛	教授(附属実技教育研究指導センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
森廣浩一郎	講師(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
山之内恵一	総務部長	
荒川忠雄	教務部長	
成田滋	教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
山城新吾	助手(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31

〔会計課〕

保健管理センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
平田早苗	保健管理センター所長	
浅川潔司	(学生委員会委員) 教授(教育臨床講座)	
川本幸彦	事務局長	
荒川忠雄	教務部長	
塩見邦雄	教授(教育臨床講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31
鈴木啓嗣	教授(教育臨床講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31
岩井圭司	助教授(教育臨床講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31
秋光恵子	講師(教育臨床講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31
村田美由起	講師(障害児教育講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31
富永良喜	教授(附属発達心理研究センター)	15. 4. 1~ 16. 3.31

〔学生課〕

附属学校運営協議会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤光	副学長	
田中亨胤	附属小学校長	
松浦正史	附属中学校長	
岡秀郎	附属幼稚園長	
古田猛志	附属小学校副校長	
小林多津子	附属中学校副校長	
寺澤幸子	附属幼稚園副園長	
三野耕	学校教育研究センター長	
加治佐哲也	教授(教育経営講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
名須川知子	教授(幼年教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
福本謹一	教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
渡信雄	附属小学校教諭	15. 4. 1~ 17. 3.31
杉本和也	附属中学校教諭	15. 4. 1~ 17. 3.31
上月康代	附属幼稚園教諭	15. 4. 1~ 17. 3.31

〔教務課〕

研究紀要委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
安部崇慶	教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
竺沙知章	助教授(教育経営講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
田中亨胤	教授(幼年教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
宇野宏幸	助教授(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
大嶋浩	教授(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
難波安彦	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
渥美茂明	教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
野本立人	講師(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
畑野裕子	助教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

情報化推進委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	副学長	
岩田一彦	附属図書館長	
三野耕	学校教育研究センター長	
正司和彦	情報処理センター長	
川本幸彦	事務局長	
山中一英	講師(教育経営講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
堀江祐爾	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
松山廣	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
鈴木寛	教授(附属教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山野惟夫	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
岡秀郎	附属幼稚園長	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔会計課〕

教職員福利厚生委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
安部 崇慶	教授(教育基礎講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
吉田 興宣	助教授(社会系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
石原 論	助教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
田中 由美子	助教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
松本 伸示	教授(総合学習系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
岡田 眞也	附属小学校教諭	15. 4. 1~ 17. 3.31
西森 良企	附属中学校教諭	15. 4. 1~ 17. 3.31
山之内 恵一	総務部長	15. 4. 1~ 17. 3.31
荒川 忠雄	教務部長	15. 4. 1~ 17. 3.31
伊藤 茂治	会計課長	15. 4. 1~ 17. 3.31

〔庶務課〕

公開講座等委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
上地 完治	助手(生徒指導講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
有働 眞理子	助教授(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
吉岡 秀文	助教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
新山 眞弓	助教授(附属教育研究センター)	15. 4. 1~ 17. 3.31
玉井 輝雄	教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
三野 耕	学校教育研究センター長	

〔庶務課〕

国際交流委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洲 正 堯	学 長	
濱名 外喜男	副学長	
岩田 一彦	附属図書館長	
三野 耕	学校教育研究センター長	
川本 幸彦	事務局長	
寺尾 裕子	(日本語・日本事情担当) 助教授(学校教育研究センター)	
安部 崇慶	教授(教育基礎講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
河相 善雄	助教授(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山岡 俊比古	教授(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
藤井 徳行	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
小池 敏司	助教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
竹村 厚司	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
竹内 俊一	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
岩下 碩通	教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
鞍谷 文保	助教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
小川 武範	教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
菅原 稔	教授(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
高島 英幸	教授(総合学習系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
鈴木 正敏	助教授(学校教育研究センター)	15. 4. 1~ 17. 3.31

〔庶務課, 学生課〕

実地教育委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
三野 耕	学校教育研究センター長	
田中 亨胤	附属小学校長	
松浦 正史	附属中学校長	
岡 秀郎	附属幼稚園長	
	(学部教務委員会副委員長)	
	(大学院教務委員会副委員長)	
長澤 憲保	(学校教育研究センター実地教育研究部門主任) 教授(学校教育研究センター)	
武井 敦史	助教授(教育経営講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
天根 哲治	助教授(教育方法講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
河野 智文	講師(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
原田 誠司	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
石原 諭	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
村上 裕介	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
永木 耕介	助教授(附属実地教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
千駄 忠至	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
上西 一郎	助教授(学校教育研究センター)	15. 4. 1~ 16. 3.31
別惣 淳二	助教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔教務課〕

同和・人権委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
渡邊 隆信	助教授(教育基礎講座)	14.12. 1~ 16. 3.31
横川 和章	教授(幼年教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
前田 貞昭	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
押久保 倫夫	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
澁江 靖弘	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
長尾 義人	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
森田 啓之	講師(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
三野 耕	学校教育研究センター長	
古田 猛志	附属小学校副校長	
小林 多津子	附属中学校副校長	
寺澤 幸子	附属幼稚園副園長	
川本 幸彦	事務局長	
安原 一樹	助教授(生徒指導講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
名須川 知子	教授(幼年教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔学生課〕

交通対策委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
鈴木 啓嗣	教授(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
寺尾 裕子	助教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山下 伸典	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
長尾 義人	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
永木 耕介	助教授(附属実技教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
長瀬 久明	教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
古田 猛志	附属小学校副校長	14. 4. 1~ 16. 3.31
小林 多津子	附属中学校副校長	14. 4. 1~ 16. 3.31
寺澤 幸子	附属幼稚園副園長	14. 4. 1~ 16. 3.31
小和田 善之	(学生委員会委員) 助教授(自然系教育講座)	
田中 雅和	(学生寄宿舎委員会委員) 教授(言語系教育講座)	
山之内 恵一	総務部長	15. 4. 1~ 16. 3.31
荒川 忠雄	教務部長	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

教員等就職対策委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洲 正 堯	学長	
濱名 外喜男	副学長	
佐藤 光	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
藤田 継道	教授(教育臨床講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
原田 智仁	教授(社会系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
松山 廣	教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
鈴木 寛	教授(附属実技教育研究センター)	15. 4. 1~ 17. 3.31
福田 光完	教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
三野 耕	学校教育研究センター長	
松下 健二	附属実技教育研究指導センター長	
	(学部教務委員会副委員長)	
	(学生委員会副委員長)	
	(実地教育委員会副委員長)	
竺沙 知章	助教授(教育経営講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31
佐藤 哲也	助教授(幼年教育講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31
潮田 ひとみ	助教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 16. 3.31

〔教務課, 学生課〕

実験廃棄物等管理委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
今塩屋 隼男	教授(障害児教育講座)	
河村 昭一	教授(社会系教育講座)	
西村 年晴	教授(自然系教育講座)	
森川 京子	教授(芸術系教育講座)	
増澤 康男	教授(総合学習系教育講座)	
川本 幸彦	事務局長	

〔施設課〕

自己評価実施委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
河村 昭一	運営評議会委員	14. 4. 1~ 16. 3.31
安部 崇慶	運営評議会委員	14. 4. 1~ 16. 3.31
鳥越 隆士	教授(障害児教育講座)	14.10. 1~ 16. 3.31
難波 安彦	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
澁江 靖弘	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
野本 立人	講師(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
成瀬 敏郎	教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山之内 恵一	総務部長	15. 4. 1~ 16. 3.31
荒川 忠雄	教務部長	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

衛星通信大学間ネットワークシステム運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
岩田 一彦	附属図書館長	
長瀬 久明	教授(学校教育研究センター)	15. 4. 1~ 17. 3.31
森 廣浩一郎	(情報処理センター員) 講師(総合学習系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
正司 和彦	教授(教育方法講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
寺尾 裕子	助教授(学校教育センター)	15. 4. 1~ 17. 3.31
西村 年晴	教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
福本 謹一	教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
松村 京子	教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31

〔会計課〕

組換えDNA実験安全委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
平田 早苗	保健管理センター所長	
小林 和則	庶務課長	
河村 昭一	教授(社会系教育講座)	14.12. 1~ 16.11.30
渥美 茂明	教授(自然系教育講座)	14.12. 1~ 16.11.30
吉岡 秀文	助教授(自然系教育講座)	14.12. 1~ 16.11.30
山口 修	教授(総合学習系教育講座)	14.12. 1~ 16.11.30

〔庶務課〕

国際交流会館運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	国際交流会館長	
寺尾 裕子	相談主事 助教授(学校教育研究センター)	
鈴木 正敏	(国際交流委員会委員) 助教授(学校教育研究センター)	15. 4. 1~ 17. 3.31
川本 幸彦	事務局長	
荒川 忠雄	教務部長	

〔学生課〕

企画委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洌 正 堯	学長	
濱名 外喜男	副学長	
佐藤 光	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
竺沙 知章	助教授(教育経営講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
今塩屋 隼男	教授(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
今井 裕之	助教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
松田 吉郎	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
矢吹 治一	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
庭瀬 敬右	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
保坂 博光	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
喜多村 明里	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
鞍谷 文保	助教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
福田 光完	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

附属発達心理臨床研究センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
富永良喜	附属発達心理臨床研究センター長	
佐々木和義	教授(附属発達心理臨床研究センター)	
井上雅彦	助教授(附属発達心理臨床研究センター)	
上地安昭	教授(生徒指導講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
谷明信	講師(言語系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
尾関徹	教授(自然系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
笹山幸徳	教授(芸術系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31
山本忠志	助教授(生活・健康系教育講座)	15. 4. 1~ 17. 3.31

〔庶務課〕

情報公開委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	副学長	
佐藤光	副学長	
岩田一彦	附属図書館長	
山下伸典	連合学校教育学研究科長	
三野耕	学校教育研究センター長	
今塩屋隼男	運営評議会委員	
安部崇慶	運営評議会委員	
河村昭一	運営評議会委員	
山岡俊比古	運営評議会委員	
西村年晴	運営評議会委員	
崎谷真也	運営評議会委員	
森川京子	運営評議会委員	
森岡茂勝	運営評議会委員	
増澤康男	運営評議会委員	
荒木勉	運営評議会委員	
川本幸彦	事務局長	
岡秀郎	附属幼稚園長	15. 4. 1~ 17. 3.31

〔庶務課〕

広報誌編集委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	副学長	
宮本健市郎	助教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
前田貞昭	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
濱中裕明	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
福本謹一	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
藤岡秀英	助教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山之内恵一	総務部長	
松浦正史	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中洲正堯	学長	
濱名外喜男	副学長	
佐藤光	副学長	
名須川知子	教授(幼年教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
森秀樹	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
本間均	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
米澤有恒	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
千駄忠至	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
西村年晴	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔教務課〕

国立大学法人化準備委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洌 正 堯	学長	
濱 名 外喜男	副学長	
佐 藤 光	副学長	
岩 田 一 彦	附属図書館長	
山 下 伸 典	連合学校教育学研究科長	
三 野 耕	学校教育研究センター長	
今塩屋 隼 男	第1部主事	
河 村 昭 一	第2部主事	
西 村 年 晴	第3部主事	
森 川 京 子	第4部主事	
増 澤 康 男	第5部主事	
田 中 亨 胤	附属小学校長	
川 本 幸 彦	事務局長	
難 波 安 彦	教授(社会系教育講座)	

〔庶務課〕

地域交流推進センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
松 浦 正 史	地域交流推進センター長	
渡 邊 満	(兼任教官) 教授(生徒指導講座)	
森 田 啓 之	(兼任教官) 講師(生活・健康系教育講座)	
八 並 光 俊	助教授(生徒指導講座)	14. 7.10~ 16. 3.31
谷 明 信	講師(言語系教育講座)	14. 7.10~ 16. 3.31
本 間 均	教授(自然系教育講座)	14. 7.10~ 16. 3.31
山 本 政 幸	助教授(芸術系教育講座)	14. 7.10~ 16. 3.31
中 岡 義 介	教授(生活・健康系教育講座)	14. 7.10~ 16. 3.31
古 川 雅 文	(学校教育研究センター運営委員会) 教授(学校教育研究センター)	
千 駄 忠 至	(附属実践教育研究センター運営委員会) 教授(生活・健康系教育講座)	
井 上 雅 彦	(附属発達心理臨床研究センター運営委員会) 助教授(附属発達心理臨床研究センター)	
	(附属学校運営協議会委員)	
	(公開講座等委員会委員)	
横 川 和 章	(学生委員会委員) 教授(幼年教育講座)	
山之内 恵 一	総務部長	
荒 川 忠 雄	教務部長	

〔庶務課〕

- 主要日誌 -

月 日	事 項
3月1日(土)	S P P事業「教員研修 - 身近な地形・地質の教材化 - 」
3月4日(火)	公開講座「兵庫 - 人物と風土 - 」 高大連携協定書調印式 高大連携等推進フォーラム 学部入学試験委員会(第9回) 研究生選考委員会 学生委員会 谷口賞選考委員会 後援会理事会
3月5日(水)	教授会(第11回) 研究科委員会(第11回) 国立大学法人化準備委員会(第9回) 学部科目等履修生選考委員会 教職講座 教職員特別定期健康診断
3月6日(木)	学部前期日程入学者選抜試験等合格者発表 大学院入学試験委員会(第9回) 大学院科目等履修生選考委員会 学部教務委員会(第11回) 大学院教務委員会(第11回) 第6回就職セミナー「教職が'入」 教員研修留学生研究発表会
3月7日(金)	横浜市教員採用試験説明会
3月10日(月)	学校教育研究センター運営委員会(第8回) 大学洋上セミナー実行委員会第2回幹事会 附属小学校学校評議員の会(第2回) 第7回就職セミナー「面接が'入」
3月11日(火)	運営評議会(第14回) 教授会(第12回) 研究科委員会(第12回) 国立大学法人化準備委員会(第10回)
3月12日(水)	学部後期日程入学者選抜試験 附属中学校卒業証書授与式 教職講座
3月13日(木)	連合学校教育学研究科委員会(第4回) 実地教育委員会(第7回) 学生寄宿舍棟長会
3月14日(金)	研究紀要委員会(第3回) 広報誌編集委員会(第4回) 附属学校運営協議会(第6回)
3月15日(土)	大学院第3次入学者選抜試験
3月16日(日)	連合学校教育学研究科総合共通科目(19日まで)
3月17日(月)	国立大学法人化準備委員会「組織業

3月18日(火)	務・人事制度部会(第21回) 情報化推進委員会(第3回) 保健管理センター運営委員会 大学院入学試験委員会(第10回) 附属幼稚園修了証書授与式
3月19日(水)	国立大学法人化準備委員会(第11回) 学部入学試験委員会(第10回) 退職時兵庫教育大学永年勤続者表彰式 附属小学校卒業証書授与式 教職講座
3月20日(木)	運営評議会(第15回) 教授会(第13回) 研究科委員会(第13回) 学部後期日程入学者選抜試験合格者発表 大学院第3次入学者選抜試験合格者発表
3月24日(月)	教員研修留学生修了証書授与式 谷口賞授与式
3月26日(水)	学部教務委員会(第12回)
3月27日(木)	大学教育支援プログラムプロジェクト会議(第1回)
3月28日(金)	国立大学法人化準備委員会(第12回)
3月31日(月)	国立大学法人化準備委員会「組織業務・人事制度部会(第22回)

プリントアウトの
無駄をなくそう
~印刷前にもう一度確認を~

編集発行 兵庫教育大学総務部庶務課

〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1

電話 代表(0795)44-1101